



## ■講習会・セミナー・見学会

### ●説明会・講習会 「JBN耐震診断改修施工指導者講習会」 (2日間連続講習会)

耐震診断から補強、改修施工までを行える実務者養成が目的の講習会です。資格認定者は既に全国で900名を超えています。今年度は全国5か所で開催を予定しています。

主催：日本建築防災協会・工務店サポートセンター  
第1回目開催：10月21日(金)・22日(土)※2日間連続  
会場：ミラ・フード館 長野県東筑摩郡山形村2061-1  
1日目9:50～16:40「木造住宅の耐震診断・耐震補強技術者養成講習」  
2日目9:00～18:00「JBN耐震診断施工指導者講習」

受講料：1名10,000円  
定員：50名(会場により異なる)  
参加条件：①全建連・JBN会員 ②建築士資格保持者  
資格証：1日目・2日目に(財)日本建築防災協会の修了証が発行されます。2日間受講し、審査試験に合格した方に、「JBN耐震診断改修施工指導者認定証」を交付致します。

お問い合わせ先：事務局 担当 坂口

### 「長期・ちきゅう住宅国産材モデル型式講習会」

長期優良住宅の技術審査の円滑化を目的に型式認定を取得しました。技術基準として「耐震等級2」、「省エネルギー対策等級4(IV地域)」、「維持管理等級3」を満たすものです。講習会を解説編と申請編で構成されたマニュアルをテキストとして行います。講習修了者には、工務店サポートセンターが修了証を発行すると同時に、型式技術者として登録・管理します。

開催地(定員)・日程・会場名会場は下記のとおりです。  
開催日：いずれの会場も10:00～17:00(東京会場のみ9:00～16:00)  
10月24日(月) 大阪(100名)・新大阪トレーニングセンター  
10月25日(火) 愛知(80名)・ウイングあいち 愛知県産業労働センター  
11月 7日(月) 東京(100名)・けんせつプラザ東京  
11月 8日(火) 宮崎(50名)・ホテルサンライト宮崎  
11月16日(水) 高知(80名)・高知県共済会館

主催：工務店サポートセンター 共催：全建連  
受講料：1名1,000円  
参加条件：①全建連会員又はJBN会員 ②建築士資格所持者  
お問い合わせ先：事務局 担当 坂口

●「今年度の講習会」開催予定  
今年度は下記の講習会を準備が整い次第、全国の主要都市で順次開催の予定です。開催詳細はホームページで案内します。

- ①「増改築相談員」講習 10月開始
- ②「木造軸組工法による省令準耐火構造SC仕様利用講習会」 開催中
- ③「耐震診断改修施工指導者」講習 10月開始
- ④「長期優良住宅の基本」講習 11月以降
- ⑤「長期優良住宅型式活用」講習 10月開始
- ⑥「木造住宅の工事管理実務」講習 10月開始

●各種講習会のお申し込み  
工務店サポートセンターHP→http://www.jbn-support.jp/よりお申し込み下さい。

●発行/お問い合わせ  
一般社団法人 工務店サポートセンター  
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町12-4 建設国保会館1階  
TEL.03-5643-5668 FAX.03-5643-5669  
E-mail : jbn@jbn-support.jp homepage : http://www.jbn-support.jp  
発行人：藤澤好一 ©工務店サポートセンター 禁無断転載  
協力：社団法人 全国中小建築工業事業団体連合会



FSC® 森林認証紙と植物油インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しました。また、環境保全活動を積極的に推進するグリーンプリンティング認定工場で製造しました。

## 刊行物のご案内

### ■新しい刊行物

●「木造住宅・工事管理の実務」  
企画から満三年、JBN工務店の若手実務者を中心に刊行委員会を構成し、執筆、編集、調整、監修を重ねてきましたが、このほど刊行されました。本書の統括編著者・長森延久氏は「工務店の若手現場監督(施工管理者)のための入門書でもあり、本書を参照すれば、経験の浅い現場監督でも行き届いた現場管理が行えるようになる」と推奨しています。本書を教材とした左記講習を10月より予定しています。彰国社刊、2011年7月30日第1版発行/定価(本体3,200円+税)  
監修 藤澤好一/編著 工務店サポートセンター



●「国産材でマンション・リフォーム」  
工務店サポートセンター編、A4版・64ページ  
\*「既存住宅改修」講習会用教材

●「バリアフリー改修から始める住まいの快適リフォームパンフレット」  
工務店サポートセンター編、A4版実例入り。  
\*「既存住宅改修」講習会用教材

●「長期優良住宅・型式認定マニュアル(解説編・申請編)」  
工務店サポートセンター編、刊行2011年2月、A4・270ページ  
\*「型式認定」講習会用教材

●「長期優良住宅型式認定マニュアル(国産材スパン表)」  
工務店サポートセンター編、刊行2011年2月、A4・400ページ  
\*「型式認定」講習会用教材

●「長期優良住宅申請マニュアル申請編(新版)」  
工務店サポートセンター編、刊行2011年3月、A4・115ページ

●「長期優良住宅建材マニュアル建材マニュアル①(構造編) 構造用面材・木造住宅用接合金物(新版)」  
工務店サポートセンター編、刊行2011年1月、A4・264ページ

●「長期優良住宅建材マニュアル建材マニュアル②(省エネ編) 断熱材・開口部(新版)」  
工務店サポートセンター編、刊行2011年1月、A4・398ページ

●「JBN版「住まいの管理手帳」戸建て編」  
長期優良住宅の完成引き渡しの際など、工務店サポートセンターの住宅履歴情報サービス機関「いえもり・かるて」の利用には、本書の利用を必須条件としています。  
(財)住宅金融普及協会発行、刊行2010年11月 頒価1,000円/冊)  
講習会用教材DVD、刊行2011年5月

\*「住宅履歴」講習会用教材  
●「木造建築士資格研修テキスト」平成23年度版  
本書は「木造住宅に精通したスペシャリスト・木造建築士」をめざす人はもちろん、木造住宅の設計・施工・管理に携わる人たちの学習専門書です。井上書院発行、定価3,500円(送料別)

●「長期優良住宅関連の刊行物」  
全建連・工務店サポートセンター発行、刊行2010年3月、A4・118ページ  
\*同講習会用教材

●「長期ちきゅう住宅国産材モデル・展示住宅ガイドブック」  
25事例の展示住宅の詳細をガイドブックとして刊行。一事例あたり6ページ構成で紹介しています。A4・164ページ 1,000円/冊(送料別)

### JBN 会員登録募集

全国の工務店の力を結集するための組織がJBNです。「地域から必要とされ、信頼される工務店」のために工務店サポートセンターがさまざまな面から支援します。

### 暮 爺 記 (ぼやき)

報告書は(1)紙1枚に(2)結論を先に(3)要点は3点に、まとめることを部下に求めた、と室伏稔(元伊藤忠商事会長)氏が日経・私の履歴書で書いている。その指示は、常に明快かつ的確だったという上司は、大本営作戦参謀だった瀬島龍三氏。経営でも組織運営でも、戦略と戦術という言葉が用いられる。全体的な方針決定が戦略、戦略に基づく細かな計画や行動が戦術、というのが一般的な理解だ。平たく言えば、トップの仕事が戦略、ヒラの仕事が戦術。▼目的と手段にも、これと似たような関係がある。ただし目的が戦略レベルか、戦術レベルかによって、位置づけが異なる。応急仮設といえば、短期的で限定的な目標とされがちだが、戦術レベルでとらえるべきではない。全木協設立には、業界、産業レベルの戦略がある、と信じていた。「用意周到、準備万端、先手必勝」、交渉や事業の着手にあたって、瀬島氏がよく口にした言葉だったという。(F)

# 工務店サポートセンター レポート

2011  
October  
No.27

10  
月号

発行人：藤澤好一  
©工務店サポートセンター  
禁無断転載

日本最大の工務店ネットワーク  
**JBN**  
Japan Builders Network  
■JBN会員数(2011年8月末日現在)  
正会員 1,754社、協力会員 75社、情報会員 32社  
●全国木造建設事業協会設立  
●事業報告・委員会報告  
●建設マイスター顕彰者・JBN工務店関係  
●会員団体の活動紹介「サポート・スタッフ紹介」  
●お知らせ

■「いえもり・かるて」登録累計数(2011年8月末日現在)  
3,083件

## 一般社団法人全国木造建設事業協会を設立

### 一般社団法人工務店サポートセンターと全国建設労働組合総連合(全建総連)の2団体で

9月1日(木)、午後2時から東京高田馬場・全建総連会館で記者会見を行い、設立の主旨などを発表しました。発表に先駆けて8月23日付の報道関係への開催通知と設立の経緯、主旨などの文書をもとに一部の専門紙では早々と記事にしていました。当日の会見には、大手一般紙をはじめ12社が取材に訪れ、そのほとんどが記事として取り上げていたことをみても、関心の深さがうかがわれます。

設立にいたる経緯と活動 応急仮設木造住宅建設協議会の活動を継承し、さらなる発展に向けての組織化を両団体で協議を重ねてきましたが、このほど全国木造建設事業協会の設立について合意し、活動を開始することになりました。当面の活動は、東海・東南海・南海地震で被害が想定されている都道府県との災害時における応急仮設住宅の建設に関する協定の締結、型式認定利用講習会開催などの事業に共同で取り組むことにしています。

また、今後は賛助会員に関係団体やメーカー等を加えて、全国各地で地震等の災害が発生しても、応急仮設住宅等の災害救助に対して迅速に対応できるようにしていく予定です。

協会が行う主な事業 全国の大工・工務店の業務、技術、人材を支援するための主な事業として定款に掲げられる主な事項は次のとおりです。

- ・災害時における復旧・復興、応急仮設木造住宅に関する事業
- ・大工・工務店による木造建築を通じての森林・林業活性化の事業
- ・大工・工務店の業務及び技術支援に関する事業
- ・大工・工務店の後継者及び人材育成に関する事業
- ・大工技能の振興に関する事業 など

構成組織 当面の正会員は、全国建設労働組合総連合(全建総連)と(社)工務店サポートセンターとし、



プレス発表で説明する青木理事長(左)は田村副理事長

## 顧客向けのパンフレット「いえもり・かるて」ができました。ご活用下さい。

「いえもり・かるて」は、「いえかるて(住宅履歴情報)」を保管し、JBN工務店や住宅所有者がいつでもデータを出し入れでき、活用するためのJBN・工務店サポートセンターの住宅履歴情報システムです。長期優良住宅法では「いえかるて」の保管を義務付けていますが、JBN・工務店サポートセンターでは、省令準耐火構造承認住宅や移住・住みかえ支援適合住宅などでも「いえもり・かるて」の登録を義務付けています。顧客に対しても「いえもり・かるて」のしくみなどを適切、かつ分かりやすい説明が必要となっています。このパンフレットは、そうした要請に応じて作成したツールです。既刊の「長持ちする家づくりのすすめ」パンフレットと同調の表現、デザインです。これについても若干修正し、増刷しましたのであわせてご利用下さい。JBN会員には、本誌とともに一部お届けしますので顧客説明用にご活用下さい。A3判裏表半折のカラー刷り・4ページのパンフレットです。実費頒布1セット(20部)1,050円(消費税込み)、送料別 「長持ちする家づくりのすすめ」も同様。

### 「いえもり・かるて」に関するアンケート調査を実施中です。

「いえもり・かるて」への現在までの登録件数は、3,000件を超えました。今後、より利用しやすいシステムとすべく、登録実績のあるJBN工務店を対象に、情報類の作成、登録などの適正化についてご意見をお聞きしているところです。調査結果は来月号で紹介いたします。

東日本大震災で被災された全建連・JBN会員、会員団体の関係者の方々には、心よりお見舞いを申し上げます。一般社団法人全国木造建設事業協会の活動を支えるとともに関連機関との連絡、調整をはかりながら復興支援に努めてまいります。





## 活動報告

### ■前月号以降の活動

- 第1106回 役員会 9月13日(火) 15:00~17:30  
東京シティアターミナル 会議室  
出席者 理事3名、執行役員4名、事務局2名

#### 【あいさつ】

・青木理事長  
いよいよ全木協が発進した。多くの問合せと反応がある。反響の大きさは皆が望んでいた体制の実現と理解している。これを活かして、工務店が仕事を取れる仕組みにつなげたい。プレ協にも主旨を伝えてある。プレ協には住宅と仮設の二つの専門部門があり、東日本大震災では、仮設専門だけで間に合わず、住宅部門も参加したと聞いており、われわれもカバーしたことになる。台風12号による大雨被害でも、その翌日にはプレ協による仮設建設の活動が始めている。各都道府県で協議会を立ちあげ、対応できる仕組みを作っていきたい。仮設だけではなく、応用型、定住型をも射程に入れ、活動していきたい。

リフォーム関連の委員会には、新任の前田国交大臣も参加をおり、大きな動きが出てくることを期待している。

全建連では事業委員会に動きがあり、動向を見守りたいが、10月には創立40周年を迎える。10月は住生活月間(第23回・徳島)でもあり、式典では、和田執行役員が国交大臣表彰を、長森執行役員が住宅局長表彰を受けることになっている。応急仮設住宅への貢献で、サポートセンターと全建連も住宅局長表彰を受ける予定だ。10月26日開催予定の社員総会と合わせて、セミナーを開催する。講師は中上英俊氏に、環境・エネルギー問題についてお願いしている。

今年、来年が山場、世の中に認められる存在になってきたことを実感しており、引き続き協力をお願いしたい。

#### ・藤澤センター長

全木協がスタートして、多くのメディアで取り上げられている。必ずしも正しく意図が伝わっていないところもあるが、活動実態で示すしかない。非常時への対応だけではなく、日常をどのように取り扱うか考えていきたいと思う。

公共建築の木造化のプロジェクトでは、大手や商事会社、建材メーカーなどが、営業、受注活動を積極的に展開しており、地域工務店が蚊帳の外に置かれているという事例が出はじめている。これらの動きに対抗していくには、工務店もしっかりとした体制を構築し、基盤を強化していく必要がある。

#### 【主な報告】

- 1) センターレポート(No.26)関連、委員会報告
- 2) 会員実数、住宅履歴登録数
- 3) 一般社団法人 全国木造建設事業協会の事業・運営について
- 4) ジャパンホームショーについて
- 5) 10月の住宅月間表彰について
- 6) 定款変更完了報告  
定款第4条(事業)に「損害保険代理業」「住宅瑕疵担保責任保険法人が行う業務の取次」の2件が追加された

#### 【主な議題】

- 1) 10月の社員総会について  
・10月26日に決定。合わせてセミナーを開催する。  
・議案となる決算報告(案)が大筋で承認した。  
・3社を社員として追加承認した。  
・「全木協設立の件」については、報告事項として扱う。
- 2) 義援金の振込先変更について  
義援金残金は、福島県設立「震災孤児・遺児の育英資金」とした。
- 3) リフォーム保険の取り扱いについて  
・リフォーム保険を取り扱い業務とし、保険会社は特定せず提携していくこととした。
- 4) H/P改編について  
・「講習会・セミナー開催案内」ページを利用しやすくする。事務局報告がタイムリーに行く、などの改編に着手する。
- 5) ジャパンホームショーでの協力会員名刺交換会について  
初日(28日)に開催。JBN会員とJBN協力会員との交流の場を設けることを決定した。
- 6) 震災復興住宅への取り組みについて  
全木協として今年中に組織固め、生産システムを構築する。各県に幹事会社をおき、各県単位で働きかけを行っていく。  
幹事会社になる条件を、特定建設業者、工務店サポートセンター社員であることとした。
- 7) その他  
・設計事務所との会員資格は、「設計事務所会員」という枠を新たに設置する。  
・現在4名の運営幹事を社員増にとまない増員する方向で人選に入る。

[次回] 10月11日(火) 9:00~12:00 徳島にて

### 青木理事長の動き

2011年8月15日(金)~9月15日(木) 8月

- ・17日(水) 全建連顧問会計士橋本先生通夜出席
- ・19日(金) 安井昇氏打ち合わせ。長森委員長同行
- ・23日(火) 住宅保証機構打ち合わせ
- ・25日(木) 韓国の建設労働シンポジウム出席。全建連連との意見交換
- ・29日(月) 全建連の経営問題協議。全国事務局長会議出席
- ・30日(火) プレハブ建築協会仮設住宅報告会出席
- ・31日(水) ジャパンホームショー打ち合わせ

9月

- ・1日(木) 安井昇氏打ち合わせ  
全木協設立記者発表
- ・6日(火) 住団連理事・住宅金融支援機構役員座談会  
住宅金融支援機構仕様書改訂委員会
- ・7日(水) プレハブ建築協会専務に全木協の内容報告、事務局長同行
- ・8日(木) 日本赤十字社へ全建連義援金を届ける  
国交省木住室と省エネ断熱に関する打ち合わせ
- ・13日(火) サポートセンター役員会
- ・15日(木) 建設マスター顕彰式典、祝賀会

## 委員会・WG報告

### 次世代の会

#### ●第1104回 8月23日(火)・24日(水)

北海道岩見沢市武部建設視察研修  
・長期優良住宅先導モデルの見学、古民家再生について学習と意見交換などを行った。

#### ●第1105回 9月28日(水) 13:00~17:00

東京ビックサイト会議棟  
①ハウスメーカーの工務店対策を逆手にとる  
②ジャパンホームショー見学

### 国産材委員会

#### ●第1103回 8月24日(水) 15:00~18:00

「施主が感銘する木材の使い方・見せ方」セミナー  
場所:東京シティアターミナル  
講師:京都大学大学院 仲村 匡司先生  
内容:内装材をどのように使うと、施主の心を捕まえられるのか

#### ●正副委員長会議 9月7日(水) 15:00~17:00

・今年度の活動計画について  
・次回セミナーを10~11月に東京都市大学・大橋教授を予定

### 環境委員会

#### ●第1103回 9月21日(水) 14:00~17:30

場所:東京シティアターミナル  
・本年度「住宅・建築物省CO<sub>2</sub>先導事業」戸建住宅新築部門の採択事例報告  
①低炭素社会の実現に向けた北方型省CO<sub>2</sub>マネジメントシステム構築プロジェクト(北方型住宅ECO推進協議会:北海道)  
②かごしまの地域型省CO<sub>2</sub>エコハウス(山佐産業株式会社:鹿児島県(JBN会員))  
③OM-LCCMコンセプトECO-UPプロジェクト(OMソーラー株式会社:静岡県)  
・昨年度「同業」採択事業の実施状況中間報告  
①天然乾燥木材による循環型社会形成LCCM住宅プロジェクト(エコワークス株式会社:福岡県)

### 増改築委員会

#### ●第1106回 8月19日(金) 15:00~17:00

場所:東京シティアターミナル 会議室  
・高齢者事業ヒアリングの報告  
・今年度の取りまとめ作業の中間報告

[次回予定] 10月6日(木) 15:00~

### 防耐火委員会

#### ●9月 全国10カ所で省令準耐火講習会を開催

・木造住宅の防耐火性能向上のためのマニュアル作成  
・木材仕様の外壁防耐火性能試験の準備

### 改良型木造軸組工法委員会

#### ●第1101回委員会 9月8日(木) 15:00~17:00

場所:東京シティアターミナル  
・今後の活動方針について  
・講習会用マニュアル作成と講習会の日程

[次予定] 10月14日(金) 10:00~12:00

### マイホーム借り上げ制度検討WG

#### ●9月「移住・住みかえ支援適合住宅講習会(HLP取得講習会)」を実施

## 建設マスター401名に大臣顕彰授与 全建連・JBN推薦の木工9名が荣誉に

9月15日(木)、東京のメルパルクホールで開催された「優秀施工者、建設産業人材確保・育成対策顕彰式典」において、優秀施工者国土交通大臣顕彰(401名)の授与が行われました。今年度は東日本大震災の影響で例年より4か月遅れとなりましたが、今回で20回目となります。

**建設マスター**  
とは、優秀施工者国土交通大臣顕彰者の通称です。建設マスター制度は、建設現場において工事施工に直接従事し、

**優秀な技能・技術**を有する建設技能者を「優秀施工者」として国土交通大臣が顕彰することで、「ものづくり」に携わっている者の誇りと意欲を増進させ、能力と資質の向上を促進するとともに、その社会的評価・地位の確立を図り、建設業の健全な発展に資することを目的として1992年度に創設されました。

**選考の流れ** 業界団体などから推薦を受けた候補者を、学識経験者・業界関係者・行政関係者などから構成する優秀施工者国土交通大臣顕彰審査委員会において、以下の項目を主体に審査し、選考されています。

- (1)技術・技能が優秀であること
- (2)工事施工の合理化等に貢献をしていること
- (3)後進の指導育成に努めていること
- (4)安全・衛生の向上に貢献していること
- (5)他の建設現場従事者の模範となっていること など。

**顕彰** 年1回顕彰式典を開催し、国土交通大臣から顕彰状が授与されるとともに徽章(純銀製バッジ)が贈呈されます。

**データベース** 昨年度までに顕彰を受けた建設マイスターは6,883名になります。職種は建設全般にわたりますが、木工職は木工に次いで多く、829名を数えます。

国土交通省や厚生労働省では、優秀な技能労働者の顕彰制度を設け、データベースを整備して、顕彰の受賞者を一括して検索できるように、広く情報提供するとともに、その評価・活用の促進を図っています。

<http://www.yoi-kensetsu.com/master/index.php> では、建設マスター、現代の名工、技能グランプリ入賞者が検索できます。

**全建連JBN推薦の顕彰栄誉者** 下記の9名の方々(敬称略)です。  
・馬場清(60)木工・NPO法人環境共棲住宅「地球の会」/大野建設(株)  
・角貝一行(58)木工・富士山木造住宅協会/榊角貝工務店  
・鈴木岩男(57)木工・愛知県建設組合連合/大鈴建設(株)  
・山口巧(62)木工・三重県建築業組合連合会/山口建築  
・狩野文博(47)木工・京都府建築工業協同組合/榊カノ工務店  
・村中博(59)木工・愛媛県中小建築業協会/村中工務店  
・楠元克徳(56)木工・熊本県建築組合連合会/南太陽工務店  
・後藤英之(54)木工・熊本県建築組合連合会/後藤建築  
・岡部敬史(47)木工・熊本県建築組合連合会/榊岡部工務店

**祝賀会** 式典終了後メルパルク内のレストランにおいて、授彰者と同伴夫人に対し、青木全建連会長、藤澤センター長、大野執行役員らが行われ、お祝いの会が開催されました。

青木会長は、授彰者の栄誉を称え、JBN工務店にとって高い評価につながる人材であり、技能レベルの向上、後進の育成への協力を要請するとともに、夫人の苦勞、サポートを労いました。マスター同志の交流を深め、明日にもつながる和やかな会となりました。

**来年度の推薦** 工務店サポートセンターでは、JBN工務店に属する優秀施工者の存在を地域に対してアピールできるように業界団体として積極的に推薦していく方針です。会員団体を通じて、ご推薦下さい。



## 会員団体の活動報告 工務店サポートセンターのサポート・スタッフ紹介

### 頼りになるアドバイザー

サポート・センターの業務の中でも補助事業関係は書類作成や提出などの期限があり、問合せやチェックなどが集中して、スタッフだけでは手が回らない時があります。そのため、会員団体事務局に応援をお願いしています。誰でもというわけにはいかず、業務に熟知した事務局長にお出ましいだいでいます。今回は頼りになる3人のアドバイザーを紹介します。

一般社団法人富士山木造住宅協会  
事務局長 遠藤龍一



平成20年10月からアドバイザーとして、長期優良住宅先導事業の申請書類チェックの総括および次年度補助事業提案等、国土交通省 木造振興室と意見交換などを通じて、少しでもJBN会員様のお力になれるよう勤めております。また、地域に必要とされる木工・工務店様のネットワーク化と様々な法改正などの変化に対応できる体制づくりを目的とし、今現在は長期法・移住すみかえ制度・省令準耐火制度の講師としても全国各地へ出かけております。

そんなこともあって工務店サポートセンターからの情報を正確かつスピーディーに伝えられるになり、当協会の活動そのものに反映され、その重要性が認められるようになりました。

これまでとは違った様々な相談を受け、一緒に問題を解決することで、より一層お客様との信頼関係を築くことが出来ました。今後も、当協会の発展のために地域のネットワークはもちろん本部、全国との連携を深め、充実を図っていきたく思っております。

一般社団法人東海木造住宅協会  
事務局長 河野晃子



当協会は2009年6月に任意団体として発足し、愛知・岐阜・三重を中心に活動をしております。事務局を運営し協会を通して、多岐に渡るサポートセンターの制度や国の情報を一早く会員様にお伝えすることが出来るようになりました。今後は委員会活動を通して会員相互の交流を更に深め、情報の共有により、1社では出来ないことに取り組むきっかけや、会員のビジネスに繋がる仕組を作る場、そして経営基盤を切磋琢磨できる環境を提供できる協会の理想としています。また、地域に根付いた地元の建築・住宅市場の活性化、地域材の活用に関わるべく、行政と共に活動を推し進めて参りたいと思っております。

また工務店サポートセンターでは、アドバイザーとして電話対応から関係書類のチェック、講習会の開催など幅広いお仕事をさせて頂いております。微力ながら皆様のご要望に充分こたえるべく、専心努力する所存でございます。今後とも宜しくお願い致します。

一般社団法人信州木造住宅協会  
事務局長 佐野佳孝



平成21年の協会設立から工務店サポートセンターに出入りをさせて頂き、各種業務のお手伝いをしております。

長期優良住宅先導モデルの書類審査や全国からの問い合わせへの対応が、当協会会員様へのサポートにも役立ち、地元の採用件数を増やすのに大いに貢献させて頂きました。

これらにより、補助金事業の流れや性質、どうあるべきか等が把握でき、これからの地元独自で取り組む事業などにも役立てられるのではないかと思います。

各種講習会のサポート業務でも多くに携わることが出来、各地で行われる講習会に参加し、長期優良住宅や型式認定、移住すみかえ、省令準耐火等、自身の知識向上にもつながり、地元での対応や講習会の開催準備等がスムーズに行う事が出来て、地元会員様にも喜ばれています。

工務店サポートセンターの地域拠点の確立の計画が進められていると聞いていますが、信州・松本もその拠点となるべく自己啓発に努めて行きたいと考えています。